報道発表

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

平成２３年４月８日

スーパーサイエンスハイスクール（平成１９年度指定）の中間評価について

「スーパーサイエンスハイスクール」について、平成１９年度指定校の中間評価を実施しましたので、お知らせします。

１．スーパーサイエンスハイスクールの中間評価について

文部科学省では、将来の国際的な科学技術系人材の育成を図るため、科学技術・理科、数学教育に関する研究開発を行う高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール（以下「ＳＳＨ」という）」に指定し、理科、数学に重点を置いたカリキュラムの開発や大学等との連携による先進的な理数系教育を実施しております。

このＳＳＨの中間評価は、指定から３年経過した学校について、ＳＳＨ企画評価会議協力者（外部の有識者）による研究開発の進捗状況等の評価を行い、各学校が研究開発等の内容を見直す機会とし、事業の効果的な実施を図ることを目的とするものです。

２．中間評価の結果について

平成１９年度に指定した３１校について、ＳＳＨ企画評価会議協力者による中間評価を行い、別添のとおり評価結果を取りまとめましたので公表します。

（問い合わせ先）
初等中等教育局教育課程課
課　　長　平　林　正　吉（内線２０９１）
課長補佐　黒　沼　一　郎（内線２３６３）
係　　長　髙　市　和　則（内線２９３０）
電話：０３－５２５３－４１１１（代表）
電話：０３－６７３４－３７０６（直通）

別　添

○　中間評価の結果について（計３１校）

・「現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいを十分達成している」（7校）
〈学校名〉

群馬県立桐生高等学校
埼玉県立浦和第一女子高等学校
静岡県立清水東高等学校
静岡理工科大学　静岡北高等学校
愛知県立岡崎高等学校
広島大学附属高等学校
高知県立高知小津高等学校

・「現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している」（24校）
〈学校名〉

福島県立福島高等学校
茨城県立日立第一高等学校
清真学園高等学校
筑波大学附属駒場高等学校
東京都立科学技術高等学校
東京都立戸山高等学校
東京都立日比谷高等学校
東海大学付属高輪台高等学校
石川県立七尾高等学校
山梨県立甲府南高等学校
岐阜県立恵那高等学校
三重県立津高等学校
三重県立津西高等学校
滋賀県立彦根東高等学校
京都府立洛北高等学校・附属中学校
大阪府立天王寺高等学校
大阪府立住吉高等学校
奈良県立奈良高等学校
西大和学園高等学校
和歌山県立海南高等学校
和歌山県立日高高等学校
島根県立益田高等学校
岡山県立玉島高等学校
山口県立宇部高等学校

・「現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをあまり達成していない」（0校）

○　中間評価講評

1	福島県立福島高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 学校設定科目「ＳＳＨ総合」、「ＳＳＨ探究」等は、ＳＳＨのねらいをよくふまえ、充実した内容となっている。なお、教育課程の編成に問題があるため改善が必要である。
2	茨城県立日立第一高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 国際性を育てるために語学力の強化に取り組み、国際交流に

		積極的に努めている。なお、国際的な科学技術、理数系のコンテスト等へ積極的に参加するよう改善が望まれる。
3	清真学園高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 多彩なＳＳＨゼミやセミナー等が体系的､組織的に設定され､活発に取り組んでいる。なお、科学的探究力等の評価について改善が望まれる。
4	群馬県立桐生高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいを十分達成している。 近隣の大学との連携を充実させ、先進的な理数教育プログラムを開発し、成果を上げている。また、大学と連携した課題研究について、校内で定型化・類型化してまとめれば、生徒にも指導教員にも良い指針となると同時に、他校においても活用できる。
5	埼玉県立浦和第一女子高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいを十分達成している。 ＳＳＨのねらいに即した独自の指導法を開発され、生物関係等は教材化されており内容も充実している。また、国際的な科学技術、理数系コンテストへ積極的に参加し、輝かしい成績を収めている。
6	筑波大学附属駒場高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 教科の枠を越えた校内プロジェクト、異学年交流等、中高６年間を見通した特徴ある取組で､学校全体の研究になっている。なお、サイエンスコミュニケーション能力の育成に係る分析に改善が望まれる。
7	東京都立科学技術高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 多数の生徒がＳＳＨ事業に積極的に参加しており、生徒の意欲､問題解決能力､コミュニケーション能力を向上させている。なお、科学技術系人材の育成について、実現すべき達成目標が不明確なところがある点について改善が望まれる。
8	東京都立戸山高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。

		教科をベースとしたクロスカリキュラムを開発し、研究を進めている。科学部などの活動を充実させ、科学オリンピック等の参加者を増やす等の取組の充実が望まれる。
9	東京都立日比谷高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 物理分野や生物分野における「高大接続カリキュラム研究」は興味深い取組である。なお、研究仮説に基づく研究開発の成果や課題の分析について改善が望まれる。
10	東海大学付属高輪台高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 学校全体として体制を整え、組織的に取り組んでおり、ＳＳＨのねらいに即した特色ある教材の開発が行われている。なお、国際性を重視したプログラムの改善が望まれる。
11	石川県立七尾高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 地域素材を生かしてフィールドワーク等を取り入れて、生徒が積極的に研究活動に取り組んでいる。なお、論理的思考力の評価方法に一定の工夫が見られるものの、創造性・独創性の高まりをどのように評価するかという点について改善が望まれる。
12	山梨県立甲府南高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 組織的、体系的、計画的な研究の成果が着実に向上している。なお、「地域密着型の教材活用」の取組について、研究仮説・取組・評価という一連の流れをふまえた改善が望まれる。
13	岐阜県立恵那高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 研究の課題やねらいに対応した生徒の変容が見られ、課題と成果が分析されている。なお、ＳＳＨのねらいに即した特色ある教材開発の取組が望まれる。
14	静岡県立清水東高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいを十分達成している。 仮説・実施・検証がそれぞれ高いレベルで整理されており、ＳＳＨの意義を深く理解していることがわかる。また、第１期

		指定後の課題分析をふまえ、「科学を伝える人材（インタープリター）」の育成を研究の柱とし研究活動を着実に進めている。
15	静岡理工科大学　静岡北高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいを十分達成している。 高大連携プログラムは大学との連携授業が充実しており、質の高いプログラムとなっている。また、科学クラブの活動も積極的で、国際的な科学技術、理数系コンテストへ積極的に参加している。
16	愛知県立岡崎高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいを十分達成している。 学校の経営計画及び教育課程の中にＳＳＨ事業が適切に位置づけられ、高いレベルでＳＳＨ事業の目的に合致した成果が得られている。また、理数系クラブの「スーパーサイエンス部」の活動も活発で成果を上げている。
17	三重県立津高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 地域における人材教育のための中高大連携の推進については、三重大学をはじめ、多くの大学との連携がほぼ計画通り実施されている。なお、ＳＳＨに関する学校設定科目の中で受講生が少ない科目について改善が望まれる。
18	三重県立津西高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 ＳＳＨのねらいを踏まえた「ＳＳⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、「ＳＳ物理・化学・生物」など、理数系教育に重点をおいた多くの科目が開設されており、おおむね成果を上げている。なお、科学技術、理数系のコンテスト等へ積極的に参加するよう改善が望まれる。
19	滋賀県立彦根東高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 大学などの研究機関の進んだ研究に触れさせると同時に、基礎的な学力の育成に力を入れていることは評価できる。 なお、県内の高校との連携強化及び、科学オリンピック等への参加推進に改善が望まれる。
20	京都府立洛北高等学校・	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達

	附属中学校	成している。 　中高一貫教育の特色を生かし、６年間を見通したカリキュラム開発を目指し、計画的に研究開発を進め成果を上げている。なお、国際社会で活躍するリーダー育成プログラムに改善が望まれる。
21	大阪府立天王寺高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 　研究開発課題の３点について、中核的拠点形成プログラムも活用しながら適切に研究を進めている。なお、ＳＳＨのねらいに即した特色ある教材開発の取組が望まれる。
22	大阪府立住吉高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 　校内の他の生徒への成果の普及や地域への情報発信も着実に実施されており、さらなる充実が望まれる。なお、海外研修以外にも英語力向上や国際性を高める取組の充実が望まれる。
23	奈良県立奈良高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 　科学技術、理数系のコンテストに積極的に参加し、活発に活動し成果を上げている。 　なお、高大接続に係る取組及び、外部人材の活用について改善が望まれる。
24	西大和学園高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 　卒業生をティーチングアシスタントとして活用した大学の研究室での課題研究は、ＳＳＨ事業の１つのモデルとなる。 　なお、国際性を育てる教育及び国際的な理科のコンクールへ積極的に参加する生徒の育成に改善が望まれる。
25	和歌山県立海南高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 　プレゼンテーション技術やコミュニケーション技術も向上し、課題研究の質も高くなっている。なお、研究仮説の検証等に具体性が欠ける点について改善が望まれる。
26	和歌山県立日高高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。

		研究の課題やねらいに対応した生徒の変容について、データに基づいた分析がなされている。なお、研究テーマとなっている「指導方法」に係る評価方法等に改善が望まれる。
27	島根県立益田高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 地域的に大学等との連携がとりにくい環境にあるが、外部機関に過度に頼ることなく、教員の指導力を向上させることで、成果を上げている。なお、研究仮説・取組・検証について一部改善が望まれる。
28	岡山県立玉島高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 複数のプログラムを相互に関連づけて実施するなどし、創造的な理数系能力の向上に向けた生徒の変容に成功している。 なお、理系コンクールへの参加の核となる生徒と教員の集団を形成する等、コンクールへ参加する生徒への学校としての支援が望まれる。
29	広島大学附属高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいを十分達成している。 ５つの研究計画はすべて計画通り進捗しており、ＳＳＨの取組が学校全体のものになっている。また、ドイツ、韓国などと連携した教材の開発や、韓国の先進科学高校との交流プログラムも興味深く、成果が期待される。
30	山口県立宇部高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいをおおむね達成している。 高大連携を積極的に進めており、課題研究も大学と連携しながら質を高めている。なお、研究仮説に基づく成果や課題の分析において改善が望まれる。
31	高知県立高知小津高等学校	現段階では、当初の計画通り研究開発のねらいを十分達成している。 生徒の国際性を育てるために語学力の強化に取り組んでおり、国際会議において英語で研究発表を行う等、国際交流に積極的に努めている。また、ＳＳＨのねらいに即した特色あるテキストを開発している。

中間評価対象校（平成19年度SSH指定校）一覧

	都道府県	31校	
		学校種	学　　校　　名
1	福島県	公立	福島高等学校
2	茨城県	公立	日立第一高等学校
3		私立	清真学園高等学校
4	群馬県	公立	桐生高等学校
5	埼玉県	公立	浦和第一女子高等学校
6	東京都	公立	科学技術高等学校
7		公立	戸山高等学校
8		公立	日比谷高等学校
9		私立	東海大学付属高輪台高等学校
10		国立	筑波大学附属駒場高等学校
11	石川県	公立	七尾高等学校
12	山梨県	公立	甲府南高等学校
13	岐阜県	公立	恵那高等学校
14	静岡県	公立	清水東高等学校
15		私立	静岡理工科大学　静岡北高等学校
16	愛知県	公立	岡崎高等学校
17	三重県	公立	津高等学校
18		公立	津西高等学校
19	滋賀県	公立	彦根東高等学校
20	京都府	公立	洛北高等学校・附属中学校
21	大阪府	公立	天王寺高等学校
22		公立	住吉高等学校
23	奈良県	公立	奈良高等学校
24		私立	西大和学園高等学校
25	和歌山県	公立	海南高等学校
26		公立	日高高等学校
27	島根県	公立	益田高等学校
28	岡山県	公立	玉島高等学校
29	広島県	国立	広島大学附属高等学校
30	山口県	公立	宇部高等学校
31	高知県	公立	高知小津高等学校